

令和5年度 事業報告書

法人本部報告

施設事業報告

生活介護・施設入所支援事業（生活支援1・2課）

看護サービス実施報告（看護・リハ課）

リハビリテーション実施報告

機能訓練（看護・リハ課）

作業訓練（生活支援1・2課）

食事提供サービス実施報告

短期入所事業報告

特定相談支援事業報告

社会福祉法人 友愛会
障害者支援施設
長崎リハビリテーション

法人本部報告

本部事務局

令和5年度は、新型コロナも感染症法上の位置付けが5類に引き下げられ、社会活動には活気が戻ってきたが、ウイルスそのものが消滅したわけではないため、当施設においてはこれまでの感染対策を継続せざるを得なかった。そのような状況下で、利用者さんの抱えるストレスを少しでも軽減し、楽しい生活を送っていただけるよう、感染状況を見ながら、創意工夫した取り組みを行った。

経営面においては、物価高騰により食材料費、光熱費、燃料費等の事業費が軒並み増加した。一方、ご利用者の重度化、高齢化が進み、月平均利用率が9割を割り込む状況が続いており、収入減に直結している。このため、2年連続で積立資産を取り崩して対応せざるを得なかった。

また、人材確保の面でも、働き手の減少に加え、経済界との賃金格差の拡大等の影響の少なからずあり、応募者が少なく大変苦勞した。そのためにも、給与ベースでの労働条件の改善だけでなく、良好な職場環境や働きがいを実感できる職場設計など人材育成・定着を目指した継続的な改善への取り組みを続けていかなければならない。

このように、法人を取り巻く環境は依然として厳しい状況に変わりない。

1. 会務の運営

開催年月日	会議名	主な議案
令和5年 6月 7日	第1回理事会	令和4年度事業報告及び会計収支決算(案)等
令和5年 6月 22日	定時評議員会	令和4年度事業報告・決算(案)、次期理事・監事の選任(案)
令和5年 6月 27日	第2回理事会	理事長及び業務執行理事の選定(案)等
令和6年 2月 21日	運営協議会	法人及び施設運営に関する要望や質疑応答等
令和6年 3月 8日	第3回理事会	令和6年度事業計画及び会計収支予算(案)等
令和6年 3月 25日	第2回評議員会	令和6年度事業計画及び会計収支予算(案)等

2. 監事監査実施の対応

- 監査実施日 令和5年6月1日 午前10時～午後12時
- 監査内容 令和4年度の理事の業務執行状況、法人・施設の事業報告及び会計収支決算並びに財務状況等
- 監査報告 令和5年6月7日 監査報告書を作成して、理事会において報告

3. 行政指導監査実施の対応

「令和5年度指定障害者支援施設・障害福祉サービス事業者等指導監査及び実地指導」は、「書面監査」により実施

- 書面監査資料提出日：令和6年3月21日
- 書面監査結果通知日：令和6年4月4日 文書指摘事項はなし

4. 人事関係

(1) 採用 (R. 5/4/2~R. 6/4/1)

採用年月日	氏名	職務
令和5年7月1日		事務員(総務課長)
令和5年8月1日		生活支援員
令和6年1月13日		調理員
令和6年3月17日		看護師

(2) 令和6年4月1日付昇格者

氏名	発令	発令前
	主任看護師	副主任看護師
	副主任理学療法士	理学療法士

(3) 採用及び退職と現員数 (R. 5/4/2~R. 6/4/1)

	生活支援員	看護師	理学療法士	サビ管	施設長	事務長	事務員	栄養士	調理員
採用	1	1	0	0	0	0	1	0	1
退職	4	1	0	0	0	0	1	0	1
現員数	42	5	1	2	1	1	3	1	8

※生活支援員及び看護師、理学療法士はサービス提供従事者(前:直接処遇者)として人員配置基準の対象となる

5. 役員の研修会等出席状況

会議及び研修名	開催月	開催地	出席者
九州障害者支援施設協議会・幹部職員研修会	6月	福岡市	コロナ禍により
第36回全国身体障害者施設経営セミナー	R6/3月	東京都	不参加

6. 地域社会への福祉・貢献活動

- ・レスキュー事業: 生計困難者を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものであるが、相談件数は無かった。

7. 地域との交流推進

(1) 地域行事への参加による交流

- ① 三重地区ペーロン大会観戦: コロナ禍のため中止
- ② 三重地区みなと祭り観覧: 不参加
- ③ 三重公民館祭り: 令和6年2月24、25日(ご利用者の創作品を出展)

(2) 施設行事における地域住民との交流

- ・夏祭り: 令和5年8月4日(コロナ禍のためご利用者と職員のみで規模縮小で開催)

8. 施設設備等の整備内容

No.	施設設備等の種類	取得月
1	ノート型パソコン	4月
2	介護支援ソフト「ほのぼの」増設パソコン用	4月
3	エアコン2台	5月
4	サーバーシステム	5月
5	床走行リフト	6月
6	電話設備	6月
7	ノート型パソコン	6月
8	会計ソフト「ACE-LINK」増設パソコン用	6月
9	エアコン	9月
10	複合機	3月

※詳細は固定資産増減明細表を参照

令和5年度 理事会・評議員会開催状況

[理事会]

年度 (回)	開催通知 施行 年月日	開催年月日 開催時間	出席者数 /定数	議 題	審議結果	欠席者氏名	監事出席の有無 (出席者氏名)	議事録 の有無	備 考
5 (1回)	R5. 5. 29	R5. 6. 7 13:25~14:20	6 / 6	1. 令和4年度事業報告(案) 2. 令和4年度会計収支決算報告(案) <監事監査報告> 3. 役員賠償責任保険契約(案) 4. 次期理事候補の推薦(案) 5. 次期監事候補の推薦(案) 6. 令和5年度定時評議員会の招集通知(案) 7. 報告事項 社会福祉充実残額の算定結果 運営規程の人員変更 理事長及び業務執行理事の職務執行状況	承認 承認 可決 可決 可決 可決	無	有 下田啓詞 中村 徹	有	
5 (2回)	R5. 6. 22	R5. 6. 27 14:00~14:20	6 / 6	1. 理事長の選定(案) 2. 業務執行理事の選定(案) 3. 評議員選任解任委員の選定(案)	可決 可決 可決	無	有 下田啓詞 中村 徹	有	
5 (3回)	R6. 2. 26	R6. 3. 8 14:00~14:40	6 / 6	1. 令和5年度会計収支補正予算(案) 2. 就業規則(正・契約・非常勤職員)の一部改正(案) 3. 令和6年度事業計画(案) 4. 令和6年度会計収支予算(案) 5. 令和5年度第2回評議員会招集通知(案) 6. 報告事項 理事長及び業務執行理事の職務執行状況	可決 可決 可決 可決 可決	無	有 下田啓詞 中村 徹	有	

[評議員会]

年度 (回)	開催通知 施行 年月日	開催年月日 開催時間	出席者数 /定数	議 題	審議結果	欠席者氏名	理事出席の有無 (出席者氏名)	議事録 の有無	備 考
5 (定時)	R5. 6. 8	R5. 6. 22 13:30～14:30	5 / 7	1. 令和4年度事業報告 (案) 2. 令和4年度会計収支決算報告 (案) <監事監査報告> 3. 次期理事の選任 (案) 4. 次期監事の選任 (案) 5. 報告事項 社会福祉充実残額の算定結果	承認 承認 可決 可決	鶴 義則 茂 雅博	有 富野哲哉 岩本良二	有	
5 (2回)	R6. 3. 13	R6. 3. 25 14:00～14:58	5 / 7	1. 令和5年度会計収支補正予算 (案) 2. 令和6年度事業計画 (案) 3. 令和6年度会計収支予算 (案)	可決 可決 可決	鶴 義則 山崎 薫	有 富野哲哉 岩本良二	有	

障害者支援施設事業報告

生活支援 1・2 課

1. サービス結果

国が新型コロナウイルスの感染分類を5類に移行したものの、利用者の皆さんは免疫力が弱く、基礎疾患がある事などを考えて一部感染症対策を継続したこと、他の感染症疾患患者が出た事により、行動制限など様々な生活に支障をきたした年度となりました。

支援について、一日の安定人員を保つことが出来ずに安心な支援の提供には遠いものとなった。

実利用者数は前年度同率の87%で経過しましたが、入院数なども前年度よりは33%減少したものの、前年度と同様に新規の入所者より退所者が少なく前年度を下回った。

施設利用契約者数（毎月初日）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	72	72	71	70	71	71	71	72	73	74	73	73	863
内定員超過者													
入 所				1			1	1	1				4
退 所		1	1							1			3

（注）定員は80名であるが、新法の日払い方式による介護・訓練給付費の激変緩和措置を活用して、定員超過者（定員5%）の受け入れが可能です。

（評価）・前年度より退所者数も入所者数も僅かに下回った。（前年度873人：入所5人、退所8人）

施設利用者入院及び外泊日数状況表

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院日数	137	192	56	29	17	49	92	81	38	129	60	71	951
外泊日数					2							3	5
合 計	137	192	56	29	19	49	92	81	38	129	60	74	956
一日当たり	4.6	6.2	1.8	0.9	0.6	1.6	3.0	2.7	1.2	4.2	2.1	2.6	2.6

（注）前年度の入院・外泊の合計日数は1405日（一日当たり3.85人）

（評価）・1名の方の強い希望で外泊となったが、他の方の希望はなかった。

※入院数等の詳細については、看護・リハ課の報告となります。

2. 年間主要行事

月別・月例行事及び諸会議

	月 別 行 事	月例行事及び会議
4月	・利用者健康診断(8回)	〈行事〉 ①グルメの日 ②寿司の日(20日) ※総務課報告 ③温泉の日(第2金曜日) 〈会議及び委員会〉 ①利用者懇談会(第4月曜日) ②職員会議(第1週) ③個別支援検討会議 ④給食運営会議 ⑤施設内研修会 ⑥衛生委員会(第2週) ⑦虐待防止委員会(年1回) ⑧拘束判定委員会(年3回)
5月	・職員健康診断(20回) ・長崎県障害者スポーツ大会(3名)	
6月	・防火訓練(別掲) ・三重地区ペーロン大会観戦(中止) ・一泊旅行(中止)	
8月	・防犯訓練(別掲) ・夏祭り(8/4、昼) ・三重地区みなと祭り(不参加)	
9月	・一泊旅行(中止)・利用者健康診断(中止)	
10月	・職員健康診断(6回)	
11月	・文化祭(中止) ・防火訓練(別掲)	

12月	・利用者忘年会・クリスマス会 ・餅つき・大掃除・防災訓練（別掲）	⑨あり方委員会（月1回） ⑩防災委員会（年1回） ⑪リスクマネジメント会議（年1回） 〈その他〉 ①体重測定 ②車椅子点検 ③施設環境整備
R5年1月	・会食（おせち料理）・初詣（1/2）	
2月	・節分・ランタンフェスティバル観覧（3回）	
3月	・花見会（3/28）	

評価 ・感染症の影響で、利用者健康診断および文化祭などは中止となりました。
・地域行事の縮小により、地域への外出は無くなりました。

会議及び委員会など

会議名	実施状況	参加者
利用者懇談会	0回	施設長・他全職員、利用者、（述べ出席者数0名）
給食運営会議	回	施設長、事務長、総務課長、生活支援課長、看護課長、看護師、生活支援員、栄養士、 ※詳細は、総務課給食班参照
職員会議	12回	施設長・他全職員（述べ出席者数233名）140/7
個別支援検討会議	20回	看護課長、生活支援課長、生活支援係長、サービス管理責任者、看護師、生活支援員、栄養士、理学療法士 （述べ参加者数147名）145/19
衛生委員会	12回	施設長、事務長、生活支援課長、看護課長、生活支援係長、サービス管理責任者、理学療法士、栄養士、生活支援員、 （述べ出席者数126名）108/10
リスクマネジメント会議	2回	施設長、事務長、総務課長、生活支援課長、看護課長、生活支援係長、サービス管理責任者、理学療法士、栄養士、生活支援員、（述べ出席者数24名）
虐待防止委員会	1回	生活支援課長、看護課長、生活支援係長、サービス管理責任者、看護師、生活支援員、栄養士、総務課、（述べ出席者数11名）5/1
拘束判定委員会	3回	施設長、生活支援課長、看護課長、生活支援係長、サービス管理責任者、生活支援員（述べ出席者数29名）26/2
あり方委員会	12回	生活支援員
防災委員会	1回	施設長、事務長、総務課長、看護課長、生活支援課長、生活支援係長、サービス管理責任者、看護師、栄養士、生活支援員、（14名）

評価 ・利用者懇談会に関しては、前年度と同様に感染予防の観点から中止継続中であるが、他の会議及び委員会には影響が少なく虐待防止委員会以外は例年に近い開催はできました。

施設内研修

施設内研修	12回	施設長、事務長、生活支援課長、生活支援係長、生活支援員、看護師、栄養士（述べ出席者数186名）90/6
-------	-----	---

評価 ・前年度と同様に、県社協が主催の研修会に参加した職員による伝達研修を中心に行いました。

施設外研修

研修名	開催月	開催地	出席者
チームリーダー	4月		副主任生活支援員3名
中堅職員	5月		生活支援員2名
新任者	6月		生活支援員1名
認知ケアの基本	5月		生活支援員2名

虐待防止	6月		生活支援員2名
ケアの根拠をつかむ、からだのしくみからケアを学ぶ	7月		生活支援員1名
認知症高齢者の食と口腔ケア	7月		生活支援員2名
夜間のリスクマネジメント	7月		主任支援員1名
排泄ケアの実践ポイント	8月		生活支援員2名
県障害児者	8月		副主任生活支援員
拘縮・褥瘡予防・改善する姿勢ケア	9月		生活支援員3名
感染症予防・対応力強化	10月		副主任生活支援員1名
チームリーダーフォローアップ	10月	長崎市	副主任生活支援員3名
中堅職員フォローアップ	10月	長崎市	生活支援員2名
初任者フォローアップ	10月	長崎市	生活支援員1名
九州障害者施設協議会・サービス提供職員	10月	佐賀市	生活支援員2名
介護入門	10月		生活支援員2名
介護施設における安全対策担当養成	11月		主任生活支援員1名
利用者中心の支援を考える虐待防止	12月		生活支援員1名
九州障害者支援施設・研究大会	2月	宮崎市	生活支援係長1名、副主任看護師1名

※開催地空欄は、WEB研修により施設にて受講

(注) 延べ出席者数名(令和5年度:30名)

(評価) ・一部は現地集合実施されたものの、前年度に引き続きWEB研修で概ね実施されましたことと、前年度より30%増の参加となりました。

3. 日中活動サービス

(1) クラブ活動〔担当:生活支援員〕 ※()内は前年度分

クラブ名	回数	延べ人数	1回当参加人数
カラオケ	0 (0)	0 (0)	0 (0)
オセロ・将棋	0 (0)	0 (0)	0 (0)
園芸	3 (10)	26 (65)	8.7 (6.5)

(内は前年度)

(評価) ・前年度と同様に園芸クラブのみ実施となりましたが、回数・人数も大幅に減少した反面1回あたりの参加人数は増加しました。

(2) 施設内外活動〔担当:生活支援員〕

外出内容	回数	延べ人数	1回当参加人数
誕生会	外出	0 (0)	0 (0)
	会食	12 (10)	65 (44)
ショッピング	一日	0 (0)	0 (0)
地域の散策	ミニドライブ	41 (26)	82 (52)
DVD鑑賞	施設内	0 (0)	0 (0)

(内は前年度)

(評価) ・誕生会の会食は、食事を伴う外出が中断している事が要因で増加傾向です。

・ミニドライブは前年度より回数・人数も56%増となったものの参加希望者は減少傾向です。

(3) レクリエーション

※詳細は、作業訓練班の報告となります。

(4) お好みタイム カフェサロン

※詳細は、総務課給食班の報告となります。

4. 防火及び防災訓練の実施

(1) 防火訓練

実施日	訓練内容	問題点と対応
令和5年6月29日 14時～15時	<ul style="list-style-type: none"> ・日中を想定 ・消防署への通報 ・消火器・屋内消火栓等の取扱い 	【問題点】 ・消防からの逆信を受けるのに戸惑った。 【対応】 ・通信環境と通報装置の不具合があったが、通信環境が整い改善に繋がった。
令和5年11月15日 14時～15時	【消防署員立会】 <ul style="list-style-type: none"> ・夜間を想定 ・消防署への通報 ・消火器・屋内消火栓等の取扱い 	【問題点】 ・消防隊が15～20分程度かかる。それまで避難などに務めて欲しい。 【対応】 ・屋内消火栓等含めた初期消火の徹底と避難に力を入れる。

(評価)・利用者さんの避難は感染予防のため中止であったが、2年続けて消防署の立ち合いの下緊張感がある訓練や消火器の取り扱い指導を受ける事が出来、実のある訓練となりました

(2) 防災訓練

実施日時	訓練内容	問題点と対応
令和5年12月20日 14時～14時30分	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の食品などの確認 	【問題点】 ・水などの保管量が少ない。 【対応】 ・必要な保管量の検討に務める。

(評価)・再三の感染対応のため、非常時の必要物品等の確認のみとなりました。

(3) 防犯訓練

実施日時	講習・訓練など内容	問題点と対応
令和5年8月18日 14時～14時45分	【警察署員講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯道具の説明 ビデオ視聴 ・模擬訓練 ・刺股の取り扱い実習 	【質問】 ・不審者の対応は一人でも可能ですか。 【対応】 ・一人でも可能だが複数で対応してください。

(評価)・警察官立ち合いの下、模擬訓練で対応及び通報など緊張感がある訓練が出来ました。

6. 実習受入

- ・福祉学科専攻の学校からの実習要請はあったが、要請校より断りの連絡がありました。

7. 事故発見（ヒアリハット）について

《事故発見1》

①（発見日時） 令和5年9月21日 午前7時45分 ②U.Nさん 男性 55歳 ③5年

④（発見状況） コロナ感染者発生のため隔離対応を行い、自室での朝食時に支援員Aが配膳を行った際に、支援員Bが同室他者の誤配膳している事に気づいた時には、既に服薬後であったため誤薬事故後に、バイタル及び様子観察を行うが問題は見られず、主治医に対応を相談するも様子観察のみと指示を受け、24時間バイタルを含む様子観察を続けた。

- ⑤（再発防止）・配膳時に食札・本人確認を行う。
- ・いかなる状態でも2人で薬の確認を行い、服薬まで見届ける。
 - ・基本的なマニュアルを遵守し誤薬防止に対する意識の強化を図る。

《事故発見2》

①（発見日時） 令和5年10月17日 ②O.M 男性 76歳 ③17年

④（発見状況） 体調を崩し入院後に腹部に発赤と痒みがある事から検査を行った際に疥癬菌を検出されたと病院より報告を受ける。その後、45日間に男性17名、女性2名が次々に検出され複数の感染者を出す事となりました。

- ⑤（再発防止） 初発の感染源特定ができない状況であったが、今後も感染症全ての拡大防止に向けて手洗い消毒の徹底を継続する。

看護サービス実施報告

看護・リハビリテーション課

当年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防に取り組み、利用者さんの健康状態を十分に把握して考察し、問題点重視の看護を提供することにより安全で安心できる生活を実感して頂けるよう努めた。

結果として、コロナウイルスによる感染拡大は防止できたが、ノロウイルスや疥癬の感染拡大が発生した。一日でも長く施設で生活して頂くために今後どうあるべきか、その結果をもとに対応を検討したので報告を行う。

1. 健康管理

(1) 入院状況

- ・入院日数 951日 (1306日)
- ・入院件数 49件 (52件) ※ () 内は前年度数

(2) 感染予防対策

①感染対策マニュアル

- ・施設内において感染の拡大が予測された感染症に対しては、具体的な対応を記したマニュアルに沿って実践した。

②インフルエンザ対策

- ・インフルエンザワクチン接種
- ・男性利用者 38名 女性利用者 29名 合計 67名 接種
- ・全職員接種

③新型コロナウイルス対策

- ・新型コロナワクチン接種
- ・男性利用者 38名 女性利用者 29名 合計 67名 接種

(3) 利用者健康診断

①第1回

- ・実施：4月5、10、12、13、17、19、24、26日 (計8回)
- ・場所：長崎百合野病院 健診センター
- ・人数：70名

②第2回

- ・コロナウイルス、ノロウイルス、疥癬の感染拡大の為、未実施。

2. 教育活動

- ・痰吸引等実施研修
- ・施設内研修

3. まとめ

(1) 成果があったと評価できる点

- ① 感染症拡大防止マニュアルの見直しを行い、実際に実践し拡大防止できた。
- ② インフルエンザ、コロナウイルスを発症した職員、利用者さんは居たが、施設内での感染拡大はなかった。
- ③ 施設内の消毒や、換気の実施など感染防止対策への意識は維持できている。
- ④ 事故後の対応や、改善策の実行はスピード感を持って行えた。

(2) 反省及び改善・検討が必要な点

- ① 9月に誤薬事故が発生。昨年度も誤薬事故があったが、その再発防止の取り組みが活かされず、リスク管理の徹底がなされていなかった。
- ② 感染症拡大に重点を置いていたため、隔離されている利用者さんの衛生面の管理が不足していた。それによりノロウイルスや疥癬の拡大がみられた。

(3) 気づき

- ① 入院者に関して、呼吸器疾患で入院する件数に対して、泌尿器科疾患での入院者数や、皮膚疾患の（蜂窩織炎）の増加が著しかった。
- ② ノロウイルス・疥癬・蜂窩織炎・泌尿器科疾患はともに身体清潔面の援助不足が要因の一つと考えられる。

今年度は新型コロナウイルスの分類も引き下げられ、感染症に対する脅威も薄れてきている傾向にある。その中でも拡大対策や感染予防をしっかりと行っていたことでクラスター防止はできたと考える。しかし、上記でも述べたように感染症に重点を置くあまり、利用者さんの清潔面での援助の不足が目立ち、後半には新たな感染症に悩まされる年となった。来年度は、サービスを提供する側の問題点は何かをしっかりと把握して、看護師が主となり環境衛生の指導や、支援課と共に環境整備を行っていく必要性を感じた。

機能訓練及び作業訓練実施報告

≪機能訓練≫

看護・リハビリテーション課

- ・コロナ感染拡大防止、疥癬発生に際して訓練室を閉鎖していた時期もあった。現在もその都度、訓練室を閉鎖し棟ごとに実施するなど対策を行っている。定期的な換気やマスク着用、手洗い、消毒を徹底し、密にならないように人と人との距離をとり実施している。日中活動や施設行事、食事等は現在も別れて行っているため、訓練中の交流は気分転換の役割も果たし穏やかな施設生活の一助のなったのではないかと思う。
- ・新規ご利用者へリハビリテーション介入し身体評価、補装具導入の検討や作製打ち合わせ、環境調整等に関わったことで、ご利用者さんのADLの維持や拡大、QOLの向上など、その人らしい生活の支援に繋げることができた。
- ・病院退院後の早期離床を目指し、バイタルサインによるリスク管理の共有を行い、移乗シートやボード利用、リフト移乗の導入、車椅子の種類を選定を他職種と検討し作製したことで、介助負担の軽減や安全性、利便性が向上した。また、ベッド離床時間も延長した。
- ・個別支援計画作成のカンファレンスに参加し、他専門職から出された意見とリハビリテーションを必要としているご利用者からの相談及び意見等の情報を共有した。また、身体機能維持を目的に居室など生活の場での個別リハビリテーションも提供できた。
- ・施設に入所されているご利用者の身体機能の評価し、ご本人や家族、他職種からの要望も汲み取り、新規作製と再作製を含め車椅子7台の作製に関わりを持った。
- ・栄養士とも連携しご利用者自身が食事を楽しめるように食器選定、食事形態、自助具の検討や導入、テーブル高等の環境調整を行い、残存機能の活用に繋げることができた。

機能訓練状況

月	居室・訓練室でのリハビリ				月	居室・訓練室でのリハビリ			
	回数	男性	女性	合計		回数	男性	女性	合計
4					10	17	121	70	191
5	18	167	102	269	11	11	107	58	165
6	21	198	125	323	12	22	183	85	268
7	18	178	129	307	1	16	158	89	247
8	19	178	114	292	2	16	49	113	162
9	13	146	80	226	3	16	66	97	163
					合計	187	1551	1062	2613
					前年比	0	-51	93	42

〔創作活動〕

計画書では、レクリエーションと合同の計画を作成したが、9月から10月までコロナウイルス蔓延し活動を同時に行うことは難しかった。次年度は、作業訓練として計画書を作成し活動を行っていくことで、余暇活動の提供が更に行えると考える。

10月後半からは疥癬が蔓延、11月からはノロウイルスが発生。その為男性利用者さんは創作活動を実施出来なかった。12月のクリスマスグッズ作成については女性利用者さんのみ活動を行った。

参加の声掛けを行い、ご自分で制作できる方の参加は多く見られたが、その他の方の参加は少なく参加者の固定が見られた。

感染症蔓延の為、作業訓練活動が実施出来ない期間があった。しかしながら今年度は、作業訓練単体としての活動を行う事で、前年度に比べ利用者さんの余暇活動を提供する機会が増加した。

次年度は、季節を感じる事が出来る創作活動を行い、施設内に展示する事で参加されていない利用者さんにも楽しんで頂けるような作品を考え提供していきたい。

令和5年度 創作活動内容

実施月	創作品（参加者数）	実施月	創作品（参加者数）
4月	鯉のぼり関連（19名）	12月	年賀状作り（31名）
5月	梅雨飾り作成（19名）	1月	書初め（22名）
6月	七夕関連（36名）	2月	ひな祭り関連（20名）
11月	クリスマス関連（11名）	3月	春飾り（15名）

※1年間の参加者総数：173名（R6.3/31現在）

〔レクリエーション〕

コロナ感染予防により密を避けた活動となった。限られた時間と職員での実施となった為、1人1人の利用者さんへの対応の時間が減少する結果となった。

例年行っていた種まきを園芸活動及びカフェサロン合同で実施。感染対策もしっかり行った中で、種蒔きをしやすいような工夫や男女別にして回数を増やすことにより多くの利用者さんが参加された。実際に土や食物に触れたり、各個人が食べたいおやつや飲み物を選ぶことで普段と違う楽しみ方が出来た。

シャボン玉遊びでは「昔を思い出した」「楽しかった」「またやりたい」などの声が聞かれ、レクリエーション活動を満喫された様子であった。

9月から11月までコロナウイルス、疥癬、ノロウイルス疑い等の感染症にて思い通りのレクリエーション活動が出来なかった。

身体を動かすレクリエーションや気分転換となる活動を実施して、より楽しく、充実した時間を

過ごせるような企画を考えて実施していきたい。

令和5年度 レクリエーション実施内容

4月 (28名)	屋外活動 シャボン玉 (作業訓練合同)	10月 (0名)	花火 (疥癬・ノロウイルスの為中止)
5月 (31名)	屋外カフェ (種植え) (カフェサロン合同)	11月 (0名)	クリスマス関連の創作活動 (ノロウイルスの為中止)
6月 (36名)	七夕関連の創作活動 (作業訓練合同)	12月 (17名)	年賀状づくり (作業訓練合同)
7月 (32名)	スイカ割 (カフェサロン合同)	1月 (22名)	書初め (作業訓練合同)
8月 (43名)	かき氷 (カフェサロン合同)	2月 (21名)	ひな祭り関連の創作活動 (作業訓練合同)
9月 (0名)	花火 (コロナの為中止)	3月 (21名)	シャボン玉 (カフェサロン合同)

* 1年間の参加者総数：251名 (R6. 3/31 現在)

食事提供サービス実施報告

総務課

昨年に続き、コロナ感染拡大防止対策を行いながら新年度を迎えたが、5月よりコロナ感染症が5類に移行となり、当施設でも6月17日より男性利用者は食堂、女性利用者は居室で食事をする方法に変更した。同時期にご飯と汁物の保温食器を導入。これにより長年、料理が冷めてしまっていた問題が改善されたようで、ご利用者からも「温かい」「美味しい」との声も上がった。それ以降は食事の温度について意見が挙がることは格段に少なくなった。

各種施設イベントについては、感染症対策の中、ご利用者に少しでも一時の楽しみを食事でも感じてもらえるように支援課と一緒に企画・実施した。いずれも「美味しかった」「楽しかった」という声が多く聞かれた。

お正月会食については、今年度も食事バランスを目的に従来二食だったものを三食で提供。昨年度の意見を参考にメニュー等を考え提供したが、今回は提供量について、ご利用者の嗜好、男女間での様々な違いなどが多くあった。この件については支援課の協力があったことができた一方、もっと早い時期からの検討が必要だと考えさせられた。

食材の原価高騰は円安や未だ続いているロシア・ウクライナ間の戦争による影響により継続中である。食材の原価高騰は、ご利用者の食事内容にも影響が大きいため使用量を減らしたり、出来るだけ安価な材料に変更したりと工夫とメニューの見直しを余儀なくされていたが、調理員の長期欠員が重なり、外部調理品を使用せずにはいられなかった。これは調理員の体調や体力をも考慮しながら通常と同じように食事提供を行う一番の方法ではあったが、使用することで比例して、ご利用者から味の不安定さ等の意見が挙がるが増え、食事提供について多方面から考えさせられた。

このことから、ご利用者への食事提供サービスについて揺るぐことがない今後について更に考えていく必要があると感じている。

1. エネルギー所要量の確保

日本人の栄養所要量に基づき、必要なエネルギーを摂取するため、給与栄養目標量を算出し、献立作成を行った。

給与栄養	エネルギー	たんぱく質	脂質	塩分
目標量	1732kcal	75g	48g	8g
実施給与量	1719kcal	70g	55g	8.2g

※カロリー制限などの治療食を行う場合には、常食のエネルギーの10%~20%減とした。

2. ご利用者の摂食形態（対象者66名 経管栄養6名除く） 令和6年3月31日現在

主食		主菜・副菜		治療食(重複あり)	
形態	前年 → 当年	形態	前年 → 当年	形態	前年 → 当年
粥ゼリー	7 → <u>5</u>	トロミ食	5 → <u>2</u>	減塩食	31 → 31
粥(粒あり)	6 → <u>4</u>	刻み食 トロミかけ	8 → <u>11</u>	カロリー食	
粥+軟飯	1 → 1	刻み食	8 → <u>6</u>	ハーフ食	14 → <u>19</u>
軟飯	11 → <u>12</u>	小荒刻み食	5 → 5	水分ゼリー	10 → 10
軟飯+米飯	3 → 3	荒刻み食	9 → <u>12</u>	栄養補助付加	9 → 9
米飯	38 → <u>41</u>	一口大	31 → <u>35</u>		

※前年より数値が動いているものには下線を付している

対象者は66名。看護課・PT・支援課と専門的な見解と連携することで、より良い対応が出来ていると感じているが、年齢や疾病によるレベル低下、食に関するそれぞれの習慣への理解や適切な環境整備も含め、今後も更に細やかな対応が必要になると感じている。

3. 「カフェサロン」で日中活動を支援

フェイスパックを再開。男女を時間帯でわけて食堂にて行った。

4. 給食運営会議と嗜好調査

給食運営会議は9回行った。栄養士が現場に入ることが多く、直接意見を聞く時間がほとんどなかったが、支援員の協力により、食事に関する意見の他、問題点に関するご利用者の率直な意見やアンケート的な呼びかけへの回答が得ることが出来た。意見の多くが味付けの濃さや薄さ、食事時の疑問、要望などであった。

9月に実施された保健所の監査において、給食運営会議録の記入方法の改善について指摘され、変更を行った。またこの1年に給食運営会議で挙げた要望や意見を嗜好調査としてまとめている。

5. 検食の実施対応

毎食、全職員を対象に輪番制にて検食を行い、味付け・彩り・適温・所見を検食日誌に記録。多職種の立場から寄せられた意見などを献立作成や調理に反映することとした。9月に実施された保健所の監査において、検食時間の記入の仕方に指導があり、この旨を職員会議にて共有し実施している。

6. 非常食の提供

短期の食材については賞味期限内に通常メニューに組み込むようにした。また夏期の台風接近時には前もって非常食を用いた献立変更を行うことができた。

7. 厨房関係の衛生管理

- (1) 厨房内消毒及び害虫駆除：業者外注、毎月実施。
- (2) 厨房内大掃除：毎月都度実施。
- (3) 腸内病原細菌検査：毎月1回実施。
- (4) グリストラップ清掃：業者外注、隔月実施。

8. 今後の課題

- (1) ご利用者のニーズからさらに派生する様々な要望にいかに対応していくか
- (2) 原材料高騰によるメニュー構成の見直しの継続
- (3) 施設内イベント・お正月会食の内容の見直しの検討と実施
- (4) 大量調理の課題である「安全性」と「効率化」に対する学びなおしと新しい知識の取り込み・向上
- (5) 非常時でも食事提供サービスをゆるがすことのない勤務体制の検討

令和5年度「長リハ特別食」

月	日	催事	献立
4	10	グルメの日	【カレー&イースター】自家製カレーパン・タマゴサンド等
	20	寿司の日	鯛とサーモンの昆布丼・茶碗蒸し・ミニケーキ等
5	5	グルメの日(子供の日)	【端午の節句】トルコライス・アイスクリーム等
	20	寿司の日	散らし寿司・お刺身・茶碗蒸し・和菓子等
6	7	グルメの日(カレー月間第1弾)	わかバーガー&自家製カレーパン
	14	カレー月間第2弾	吉村さん家のイエローライス&チキンカレー
	20	寿司の日	かにと海老のちらし寿司・天ぷら・赤だし・琴海メロン
	21	カレー月間第3弾	トマたまチーズカレーうどん等
6	28	カレー月間第4弾	選べるレトルトカレー・海藻サラダ等
	7	七夕	キンパのおにぎらず・七夕そうめん・七夕ゼリー等
	20	寿司の日	海鮮サラダ寿司・ささみのしそ巻き天・茶碗蒸し
	23	グルメの日(土用丑の日)	うなぎ・冷奴・すまし汁・和菓子
8	4	夏祭り	【南国リゾート風ランチ】ステーキ・ガーリックシュリンプ等
	10	グルメの日	【沖縄グルメ】ジュシー・沖縄そば・パイン等
	15	お盆	赤飯・皿うどん・杏仁豆腐等
	20	寿司の日	うなぎちらし寿司・玉子のしんじょ・赤だし・和菓子
9	20	寿司の日	海鮮サラダ寿司・茶碗蒸し・水ようかん
	27	グルメの日	いなり寿司・おろしきしめん・天ぷら・デザート
10	7	グルメの日(おくんち前日)	【おくんち弁当】赤飯・お刺身盛合せ・紅白なます等
	20	寿司の日	サーモンのなめろう丼・茶碗蒸し・柿等
	31	ハロウィン	おばけオムライスと真っ赤なシチュー・南瓜コロッケ等
11	15	グルメの日	【新米祭り】炊き立てご飯とお刺身付きおかずのセット
	20	お寿司の日	海鮮ちらし寿司・梅しそ天ぷら・茶碗蒸し等
12	1	グルメの日	栗となつめの炊込みご飯・ポッサム・春雨スープ等
	15	利用者忘年会・寿司の日	【船好】「にぎり寿司・巻き寿司・いなり寿司・細巻き」等
	24	クリスマス会食	チキンレッグとポテトフライ・ショートケーキ
	31	大晦日	年越しそば等
R5 1	1~3	お正月会食	【おせち料理】お刺身盛合せ等
	7	七草	七草粥
	10	グルメの日	【佐賀グルメ】シシリアンライス・サーモンマリネ等
2	20	寿司の日	うなぎ蒸し寿司(関西風)・大根そぼろ煮・そうめん汁
	3	節分・立春	のつけ巻き寿司・いわしの煮つけ・おにまんじゅう等
	14	グルメの日(バレンタインデー)	トルコライス・ティラミス
	15	ランタンフェスティバル第1弾	ちゃんぽん・ハトシ・杏仁豆腐
	20	寿司の日	サーモンの塩麹漬け丼・南瓜天・ぜんざい等
3	15	ランタンフェスティバル第2弾	細麺皿うどん・中華風コーンスープ
	3	グルメの日(ひな祭り)	海鮮ばらちらし寿司・茶碗蒸し・菜の花の香り浸し等
	20	寿司の日	サーモン漬け丼・ごま和え・和菓子等
	28	花見会	【お花見弁当】選べるおにぎり・豚汁・焼き鳥等

短期入所事業報告

生活支援 1・2 課

令和 5 年 5 月 8 日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類感染症に引き下げられたが、施設では新型コロナ（9/21～10/3）ノロウイルス 11/19～11/27）疥癬（10/17～3 月）と感染症が見られ、短期入所は継続するも、ご家族に状況を伝え見合わせて頂く事もあっている。しかし、家族や相談支援事業所などからの問い合わせは多く、新規の利用者の利用へも繋ぐことが出来た。ご家族には食事のメニューと施設イベント等への参加時の写真など LINE を活用し、お伝えすることで「楽しそうな様子がわかります」「ありがとうございます」とご好評頂けている。

年間利用状況

- (1) 実利用者数（～） 17 人 （前年度 17 人）
 (2) 実利用回数（※） 154 回 （前年度 87 回）
 (3) 延べ利用日数 1075 日 （前年度 1026 日）
 ※同一利用者が複数回利用した場合は、その回数の合計とする。

1. 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数(人)	7	8	10	8	8	9	9	8	7	8	7	7
利用回数(回)	10	11	14	13	12	14	13	10	14	12	13	18
利用日数(延べ)	100	100	124	90	92	74	76	69	87	85	86	92

2. 個人別利用状況

	性別	支援区分	利用日数(回数)	利用理由
A	女	4	352 (14)	介護者の入院等、介護者の負担軽減（入所待機）
B	男	3	32 (9)	家の老朽化による避難と家族入院による不安
C	男	3	32 (9)	家の老朽化による避難と家族入院による不安
D	男	3	30 (2)	主となる介護者の入院による不安と介護者の負担軽減
E	男	4	57 (11)	介護者の負担軽減・本人の身体機能を考慮（入所待機）R6.5.1 入所予定
F	女	3	10 (5)	介護者の負担軽減
G	女	6	19 (4)	介護者の負担軽減
H	男	6	91 (3)	介護者の負担軽減（R5.7.1 入所）
I	男	5	18 (4)	介護者の負担軽減
J	女	6	16 (8)	利用者の負担軽減
K	女	6	2 (1)	利用者の負担軽減と体験利用
L	男	6	53 (25)	利用者の負担軽減
M	男	5	166 (40)	利用者の負担軽減
N	男	6	4 (2)	利用者の負担軽減
O	男	4	168 (13)	利用者の負担軽減（入所待機）
P	男	5	19 (2)	介護者の負担軽減
Q	女	6	6 (2)	利用者の負担軽減

特定相談支援事業報告

相談支援事業所ひだまり

1. 計画相談支援新規契約及び終了状況

- (1) 新規契約者：5名（内訳：身体障害2名、施設入所3名）
- (2) 契約終了者：2名（内訳：施設入所2名）

2. 計画相談支援に係るサービス等利用計画など年間延べ作成状況

- (1) 年間延べ作成件数
 - ・サービス等利用計画案及びサービス等利用計画 56件（昨年度101件）
 - ・モニタリング報告書 183件（昨年度179件）
 - ・年間実利用者数 86名（昨年度88名）
- (2) 計画等提出自治体数 12市町
（内訳：長崎市、佐世保市、諫早市、雲仙市、南島原市、西海市、
平戸市、五島市、時津町、長与町、新上五島町、川棚町）

3. 相談支援活動内容

- (1) 新型コロナ対応のため控えていた自宅や事業所の訪問を再開。これにより、直接表情や様子を伺うことができ、計画等作成に活かすことができた。
- (2) 新規の計画相談依頼が支援対象者の多い月に重なった場合は受け入れが困難なため、断るケースがあった。その際、新規相談支援事業所などの紹介を行った。
- (3) 長崎県相談支援専門員研修や長崎市相談支援部会等に参加し、日ごろの支援だけでは気づくことのできない地域での課題について理解を深め、今後の相談支援を行うために必要な解決策や対応方法などを議論する機会を持つことができた。
- (4) 長崎県相談支援専門員協会のスタッフとして長崎市障害福祉課から依頼された個別避難計画の策定を行った。（対象者は三重地区在住の身体障害者1名）

4. 相談支援部会及び研修会等出席状況

月	出席研修等	内 容
4	長崎市相談支援部会	・昨年度及びこれまでの経過の振り返り ・今年度の予定について（協議内容・連携会議等） ・事例集編纂に向けた協議
4	あいさぽーと合同勉強会	・ヘルパー不足について ・事例検討
5	長崎市相談支援部会連携会議	・行政説明 ・相談支援専門員座談会
5	長崎県相談支援専門員協会総会	・協会活動報告等 ・記念講演「これからの協会活動や相談支援専門員に求められること」
6	長崎市相談支援部会	・座談会振り返り ・初任者向け研修会確認
7	あいさぽーと合同勉強会	・請求の仕方について ・不登校の支援 ・情報交換

7	長崎市相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・就労アセスメントについて ・初任者向け研修会最終確認
7	長崎県相談支援専門員協会 長崎ブロック研修	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパービジョンについて
7	長崎市基幹相談支援センター 主催研修	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援の対応範囲について ・グループワーク
7	長崎県サービス管理責任者等 更新研修	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県サービス管理責任者等更新研修
8	長崎市相談支援部会連携会議	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者向け研修会
9	長崎市相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議（初任者向け研修）振り返り ・事例集編纂について ・マニュアル（更新）最終確認
10	長崎市相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険関係者との連携会議について ・事例集編纂について ・来年度の予算について
11	長崎市相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ながさき安心プラン（緊急時対応）について ・介護保険関係者との連携会議について ・事例集編纂最終確認
12	九州地区障がい者相談支援事業合 同研修会長崎大会	その人らしい豊かな暮らしを目指して 笑談支援！
12	長崎市相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険関係者との連携会議最終確認
1	長崎市基幹相談支援センター 主催研修	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センターの説明 ・長崎市から説明（地域生活支援拠点について等） ・「そなえて安心ながさきプラン」の説明 ・緊急対応をした事例報告・質疑応答 ・座談会
1	長崎県相談支援専門員協会 長崎ブロック研修	<ul style="list-style-type: none"> ・個別避難計画作成について
1	長崎市相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険関係者との連携会議最終確認 ・次年度の予定について
1	地域生活支援情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活移行、地域定着支援を行う中での課題共有
2	長崎市相談支援部会連携会議	<ul style="list-style-type: none"> ・障害と介護保険サービスの併用パターン紹介 ・グループワーク
3	長崎市相談支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児者虐待報告（件数と対応事例） ・介護保険関係者との連携会議振り返り ・次年度の予定について